

## 「本山寺山森林づくりの会」活動報告

武田壽夫(文、写真)、倉谷邦雄(写真)、山 國 (写真)

日 時：2018(平成 30)年 1 月 21 日(日) 9:30～15:30

気 象：天候=晴 (12 時の気温：4℃)

活動エリア：45 林班に-03

活動内容：モニタリング調査区周辺の混合林と天然林の整備、並びに斜面の作業道の整備

参加者：倉谷邦雄、河野直子、杉本佳英、武田壽夫、宮本 廣、山 國、

(計 6 名)

### <この時期、稀な「寒くない」一日>

24 日からは稀に見る寒波の襲来で、大阪での最低気温は連日氷点下、最高気温も 4℃止まりの「冷凍庫」状態。活動日の 21 日の山の気温は 4℃と、つくづく「恵まれた」一日だったと振り返る。

風の無い、汗も冷えずのほどの良い気象、「有難や、アリガタヤ」也と言うことで、前回に引き続き「45 林班に-03」のモニタリング調査区周辺の林床整備に取り組む。

始める前に、前回、庫裏の門前で撮った写真(前号に掲載)を住職にお届け、ご笑納頂く。本山寺さんは我々の活動地に隣接する「山持ち」さんで、折々のコミュニケーションは欠かせない。この時も、知らぬ間に作られていた「小屋」のことを気にされていた。勿論、我々の「仕事」には非ず。

なお、斧田氏より、①大阪さともり地域協議会への会計検査院検査では、我々の森づくりには触れられなかったこと、②今年度は 2 月第一木曜(2/1)までが交付金の対象となること、③新年度の申請も今年度と同エリア・同規模で申し込み予定であること、④近く業者による枯損木除伐作業が始められるので、隣接する場合の相互の安全確保にも注意すること、との伝達があった(斧田氏は所用の為 JR 高槻での挨拶のみ)。サテ、山道では好天の所為か、ハイカーの姿もボチボチ。

### <今日の成果は……>

前回同様、尾根の下部・上部の二組に別れ、下部組は斜面の林床整備と作業道整備、上部組は倒木・落枝の整理を進める。こう綴れば「平板」な表現になるが、下に向っての作業は残地木を整理しながら比高 10m 以上の階段を作り、水平歩道に繋げようと言うもの。急斜面での杭の打ち込み、10m を越える残置木の玉切り・移動と力作業の連続である。

上部の尾根部分では、重畳する倒木と落枝の整理はキリがないように感じる。一帯を済ませて振り返ると、必ず新しい「やり残し」が目につく。まるで積んでは崩れる「賽の川原」状態である。それでも、林床整備や枯損木除伐は上部で 20m×50m、下部で 5m×10m の範囲を概ね整備。階段は比高 10m 程を延伸。ここでの作業も「完成」にはまだまだ

### <山だよりー生きものの記録>

「カメムシ」発見：紙コップの底に潜んでいた。密閉状態の作業小屋の中で、良く永らえていたと関心。and 一寸いい話：弁当御用達、安岡寺の「セブン・イレブン」は 2/16 リニューアル・オープン予定。巻寿司「ろまん亭」の亭主は「(当店へお越しの際も)車が止め易くなります」とお披露目も怠りがない。

【朝の全員集合】



【「掛矢」で横木止めの杭を打ち込む】



【階段整備場所-比高を実感頂きたい】



【概成した階段部分】



【下部斜面の「散乱」状況】



【左の写真より少し下側だが、多少はスッキリかも】





【上部組—お題は「勇躍」】



【天然林の散乱状況】



【倒木処理中】



【整備後の一例—天然林】



【ほっと コーヒー・タイム】



【奇跡の「カメムシ」】



(1/21 おわり)